

## 渚滑川水系河川整備計画〔変更〕（原案）に対して寄せられたご意見

※頂いたご意見は事務局にてテキスト化し、受付順に掲載しています。

※個人や特定の企業・団体名が掲載されている部分は黒塗りとしています。

<意見①>お住まい：紋別市

P35-18 行目 河川環境の整備と保全

河川整備は住民の生命財産を守る為であることは十分に理解します。そのためには河川の改変、自然環境の犠牲は避けられないことです。しかし昨今自然の多様性を重視した生態系ネットワークの維持も重要な問題です。そのためには現状を正しく把握理解する事が重要ですが、P25~P28 の内容ではまるで不十分です。一つの例を挙げるとオオワシオジロワシがなぜここに集まるのか、自然のつながりを理解しているとは思えない記述です。近年は渚滑川中流下流域をオオハクチョウが利用していますが、その記述もありません。これでは理事者側が渚滑川の自然環境を生態系として理解しているとは思えないのです。調査者の資質が問われます。（以下続く）

P51 9 行目 2-1-3

「影響が考えられる場合検討する」とあるが、誰がどのように評価するのか不明である。今でもオオワシオジロワシにとっては十分な環境なのか、他の生き物にとってはどうなのか十分な評価がされているとは思えない。

このような計画書はいつも具体的なことが書かれていないので、何もしないことになる。

渚滑川は北の北見幌内川、南の湧別川と共に西紋地区ではオオワシオジロワシにとって大変な重要な河川であることをもっと理解してほしいし、また渚滑大橋の下流にあるショウドウツバメの営巣ブロックがなぜ設置されたのかも分かっているほしいことである。

まだ指摘したいが、計画案が抽象的すぎるので指摘しづらい。

それから要望ですが、紋別市役所の閲覧場所は机もなく、その場で筆記したくてもまらでできない状況です。これでは閲覧は既成事実作りでしかないと感じてしまいます。改善の余地があります。